

第92期 中間報告書

2016年4月1日－2016年9月30日

株主のみなさまへ

Mineral Resources

Smelting & Refining

Materials

TOP MESSAGE

株主のみなさまには、
平素より格別のご支援を賜り、
厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第92期 上半期
(2016年4月1日から2016年9月30日まで)
のご報告を申し上げます。



代表取締役社長
中里 佳明

目次

TOP MESSAGE	1
連結業績ハイライト	3
SMMとメタルのちから	
特集① 統合報告書	5
特集② SMM新聞広告	8
トピックス	9
連結財務諸表(要約)	11
会社情報	13
株式状況	13
株式メモ	14

2016年度上半期(第1・第2四半期合計) の業績について

**金属価格の下落や円高により、
前年度同期間と比べ減益となりました。**

当上半期(2016年4月～9月)の世界経済は、英国のEU
離脱の動きにより先行き不透明感が高まりましたが、全体
としては大きな減速はなく緩やかな回復を継続しました。
為替相場は、当上半期に入り円高の進行に一服感が出た
ものの、依然として円高水準で推移しました。

非鉄金属価格については、ニッケルおよび銅価格が中
国経済の減速懸念などから前年同期間(2015年4月～9
月)に比べ大幅に下落しました。ニッケル価格については、
年初から小幅に上昇したものの、上値が重い状況で推移
しました。

このようななか、当上半期の売上高は、前年同期間に比
べ20%減少し、3,665億円となりました。営業利益では、
前年同期間に比べ57%減少し、219億円となりました。
経常利益では、持分法による投資損益および為替差損益
の悪化などにより前年同期間に比べ82%減少し、117億
円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、
前年同期間に比べ93.9%減少し、33億円となりました。

戦略の進捗状況と今後の見通し

モレンシー銅鉱山の権益追加取得で、業績に貢献

モレンシー銅鉱山の権益追加取得の手続きが5月末に完
了し、当上半期より増益に寄与しています。シエラゴルダ銅
鉱山はフル操業に近づけるべく努力しており、加えて安定
性や効率の向上、操業費用の削減に総力を上げて取り組ん
でいます。タガニートHPALニッケル社では生産能力を従来

の年産30,000トンから年産36,000トンに引きあげる拡
張を計画より前倒して、2017年度下期中の完成を目的
に進めていきます。2014年に意思決定した、車載用電池
材料であるニッケル酸リチウムの生産能力の増強は予定
通りに完成し、当下半期中には月産1,850トンのフル生産
体制となる予定です。さらなる需要拡大に対応するため、
今年10月には現在の月産1,850トンから月産3,550トン
に引き上げる増産投資を決定しています。

配当方針について

年間配当性向は30%以上に

15中計期間の配当性向は30%以上とし、業績に連動し
た配当を実施する方針としています。当中間期の配当は、
5月予想時と同額の5円/株とさせていただきます。

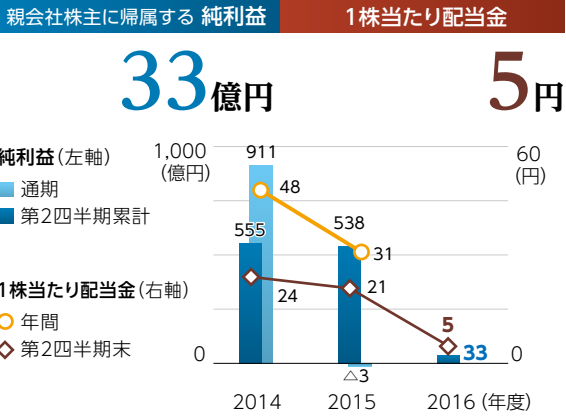
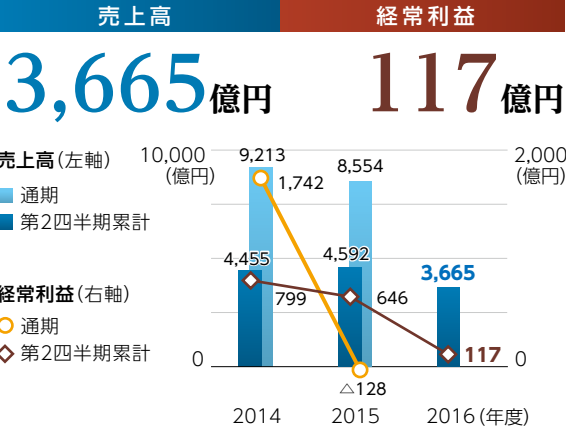
株主のみなさまへのメッセージ

**今後も成長戦略を着実に推進し、
企業価値の更なる向上へ**

非鉄金属価格は、先行きの見通しにくい状況が続くこと
が想定されます。このようにボラティリティ(価格変動)の
大きな事業でも安定的な成長を実現できるよう、材料事
業の収益力向上などにより経営の基礎体力を強化すると
ともに、戦略投資の確実な推進とコスト削減などの業績
改善策を積み重ねて、さらなる企業価値の向上をめざし
ていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬ
ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上
げます。

業績ハイライト



住鉱エナジーマテリアル(株)植葉工場(福島県)

連結業績ハイライト

資源セグメント

当期業績概要について

- 菱刈鉱山の操業は計画通りに推移しています。
- ポゴ金鉱山は実収率や品位の低下により生産量が減少しましたが、安定的な生産を継続しています。
- 海外銅鉱山では、モレンシー銅鉱山の権益追加取得が完了し、今上半期から業績に寄与しています。また、セロ・ベルデ銅鉱山では拡張プロジェクトが3月に完成し、生産量は前年同期に比べて大幅に増加しました。

今後の展望

- 銅では、シエラゴルダ銅鉱山の安定的なフル生産に向け、操業効率向上やコスト削減に重点的に取り組んでいきます。
- 金では、菱刈鉱山の安定的な操業と、下部鉱体の開発に引き続き取り組んでいきます。
- 新規権益獲得については、金をターゲットにし、将来収益に寄与する案件に厳選して、有望な案件への参入を検討していきます。

製錬セグメント

当期業績概要について

- 銅製錬では、東予工場の生産は順調に推移しました。
- ニッケル製錬では、コーラルベイニッケル社およびタガニートHPALニッケル社で生産量が減少しましたが、ニッケル工場および播磨事業所では安定的な生産を継続しました。

今後の展望

- 銅製錬では、今年度は過去最高の生産量の達成に向け、引き続き操業度の維持とコスト削減により競争力強化を図っていきます。
- ニッケル製錬では、播磨事業所において硫酸ニッケルの第2系列増産起業が立ち上がり、生産量が拡大します。また、タガニートHPALニッケル社では増産投資を前倒しで取り組んでいきます。

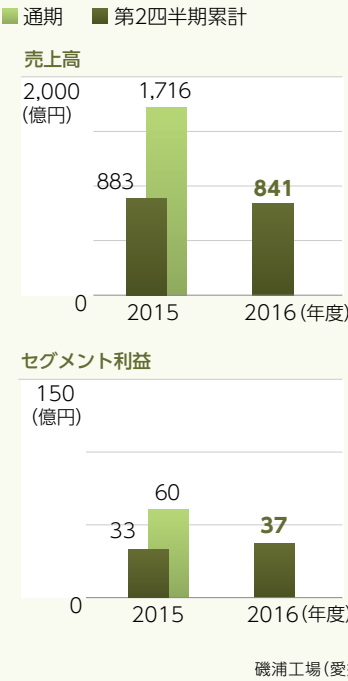
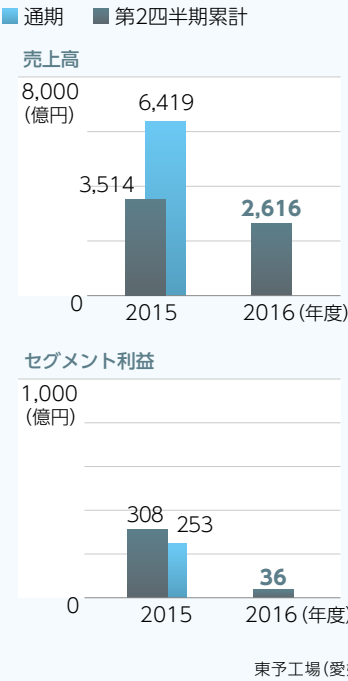
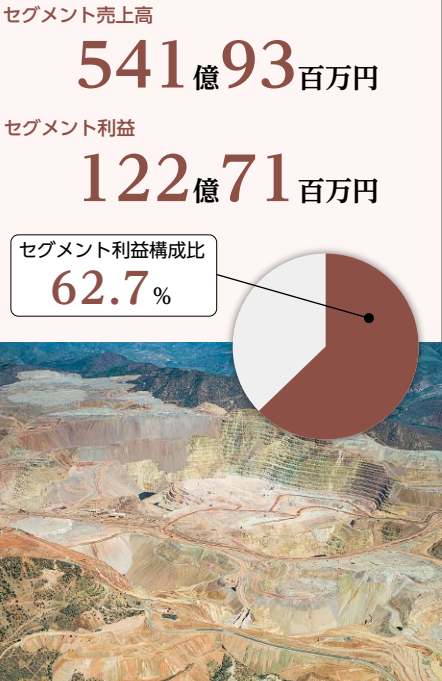
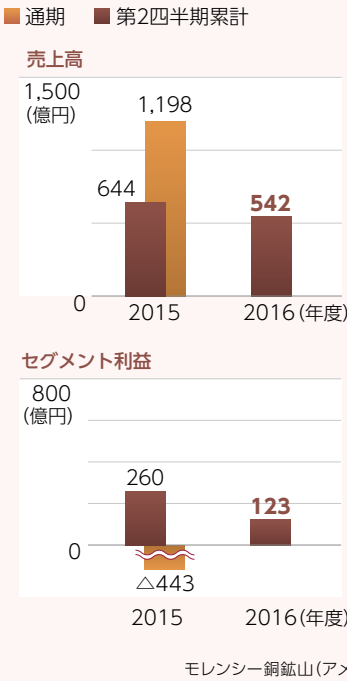
材料セグメント

当期業績概要について

- 増産投資を行っている車載用二次電池向け電池材料およびスマートフォン向け結晶材料は、需要が好調だったことを背景に、生産量と販売量がともに増加しました。
- パッケージ材料および粉体材料は、パソコンや液晶テレビ向けの部材の需要が停滞したことから、販売量が減少しました。

今後の展望

- 電池材料では、ニッケル酸リチウムの生産量を月産1,850トンから月産3,550トンへ引き上げる追加増産投資を決定しました。2018年1月の完成に向けて、取り組んでいきます。
- 結晶材料では、LT/LN基板について、2017年9月完成予定の月産40万枚体制の立ち上げに注力していきます。



注) セグメント間の取引が発生しており、当社の売上高として公表している数値はこれを消去した外部売上高の合計です。各事業の売上高、セグメント利益はセグメント間取引を消去する前の金額を表記しております。セグメント利益構成比は、3セグメント合計に対する比率を表記しております。

SMMとメタルのちから 特集① 統合報告書

統合報告書2016を発行しました

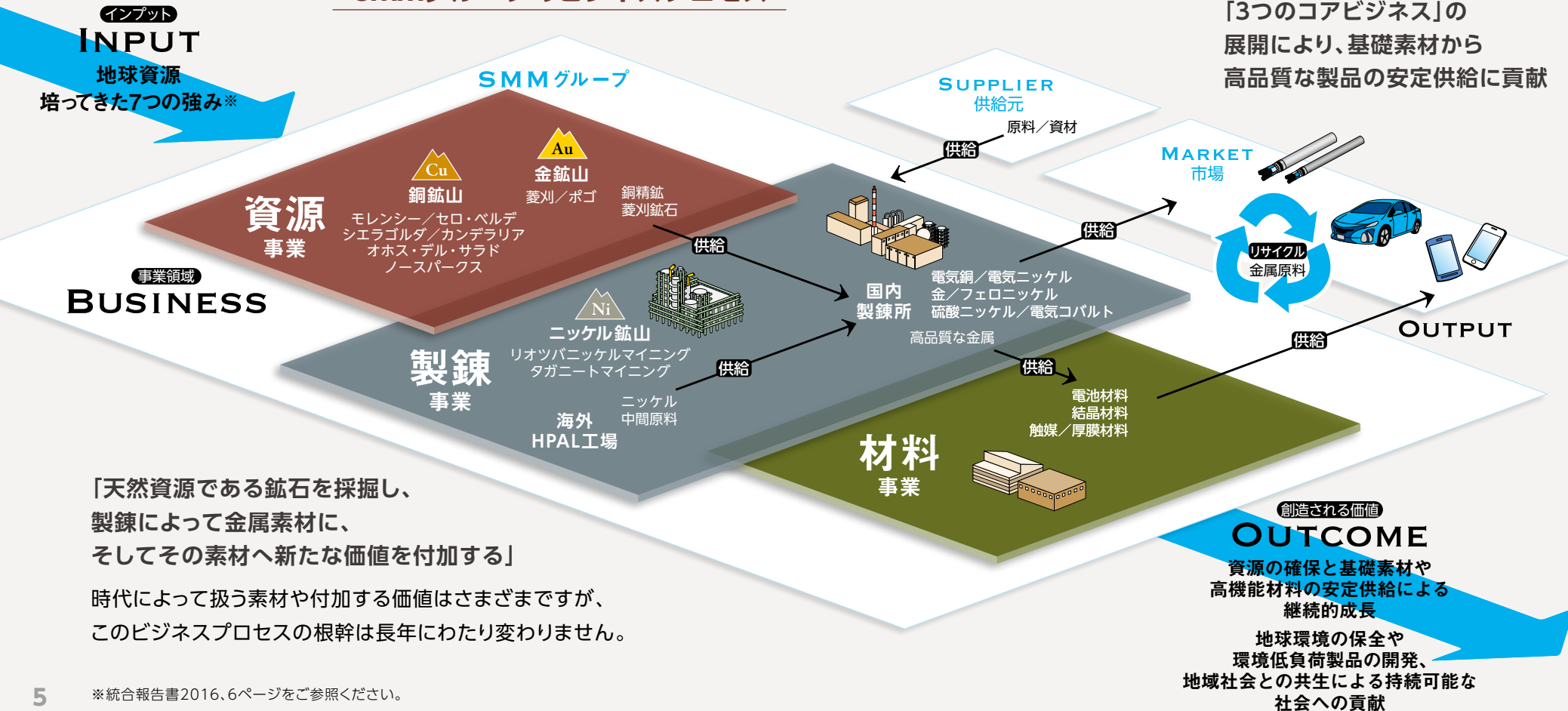
今年から、アニュアルレポートとCSR報告書を統合し、初めて「統合報告書」を発行しました。SMMグループがめざす『持続的な成長と企業価値の最大化』へ向けた取り組みについて、ステークホルダーの皆様へ、より一層ご理解いただけるように情報発信に努めてまいります。



統合報告書に掲載しているSMMグループの事業の強みの一部をご紹介します。

統合報告書は当社ホームページに掲載しています。
<http://www.smm.co.jp/ir/library/annual/>

<SMMグループのビジネスプロセス>



「天然資源である鉱石を採掘し、製錬によって金属素材に、そしてその素材へ新たな価値を付加する」

時代によって扱う素材や付加する価値はさまざまですが、このビジネスプロセスの根幹は長年にわたり変わりません。

<SMMグループの3つのコア事業が持つ強み>

資源事業

鉱山技術と探鉱技術の蓄積

パートナーとの強固な信頼関係

地域社会との共存

精度の高い採算性評価技術

単に権益に出資するだけではなく、SMMが別子銅山以降発展させてきた技術をもとに、人材の派遣や技術協力を通じてパートナーから高い信頼を得ています。こうして構築された信頼関係を基盤として、新たな優良開発案件への参画や権益獲得の機会が得られており、さらなる成長・企業価値の向上につながっています。



製錬事業

HPAL技術を用いた低品位ニッケル鉱石の活用

コスト競争力の高い製錬所

地域社会との共存

SMMは、世界の同業に先駆けて、HPAL※技術の商業化に成功し、低品位のニッケル酸化鉱からニッケル製品の生産を可能にしています。また、当社の主力製錬所である東予工場とニッケル工場は世界でもトップクラスのコスト競争力を誇り、安定操業による収益機会の最大化を図っています。これらの技術力とコスト競争力の高さが、安定供給の基礎となっています。

※HPAL法：High Pressure Acid Leach (高圧硫酸浸出法) 低品位ニッケル酸化鉱からニッケル、コバルトを回収する技術。



材料事業

コア技術を生かした製品展開

市場をリードする顧客との関係

地域社会との共存

電池材料事業では、研究開発段階からの連携や、上流である製錬での技術対応、原材料のニッケルやコバルトから一貫したサプライチェーンに基づく製品の安定供給により、お客様から信頼を得ています。開発や調達で築かれた強い信頼関係が製品やマーケットに関する最先端の情報共有や新たな製品開発の協働へつなげる好循環を生み出しています。



SMMとメタルのちから 特集 1 統合報告書

ものづくりの企業にとって、研究開発は持続的な成長の基盤であり、また強みでもあります。
SMMでは保有する技術を基盤技術・コア技術・基礎研究に分類し、技術ドメインを明確にして、
重点的に研究開発に取り組んでいます。

<成長戦略分野に研究開発を集中>



SMMとメタルのちから 特集 2 SMM新聞広告

日本経済新聞に企業広告を掲載

SMMは、2016年1月25日、3月25日、8月26日の日本経済新聞に企業広告を掲載しました。
シンプルかつ骨太にSMMのコア事業(資源・製錬・材料)をPRする内容となっています。

日経新聞に掲載した企業広告



広告は当社ウェブサイトに掲載しています。

当社ウェブサイトの広告掲載アドレス

http://www.smm.co.jp/corp_info/ad/

これらの広告は、第65回日経広告賞の「生産財・産業部門優秀賞」を受賞しています。

トピックス

住友金属鉱山(SMM)の今がわかる、注目トピックスを時系列にまとめご紹介します。

2016年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

くにとみ 住鉱国富電子(株)での LT/LN基板増産起業開始



SAWフィルター用結晶材料(LT/LN基板)

4月5日、住鉱国富電子(株)にて、LT/LN基板の増産に向けた、工場建屋の新築工事開始に伴う安全祈願祭が執り行われました。住鉱国富電子(株)では、SAWフィルター※のチップに用いられるLT/LN基板を製造・販売しております。増産起業による全設備の完成は2017年9月を予定しています。これにより当社のLT/LN基板の生産能力は40万枚/月に増加します。SMMは、約30年にわたるLT/LN基板の製造・販売の実績および単結晶育成からウェハー加工までの一貫した生産技術を有する強みを活かし、LT/LN基板市場で更なる成長をめざしてまいります。

しさが ひぐらしべってい 四阪島「日暮別邸」を移築



移築前の日暮別邸の様子

5月、SMMと住友グループ19社は、愛媛県今治市四阪島にある「日暮別邸」を愛媛県新居浜市に移築し、記念館として活用するための工事に着手しました。日暮別邸は、明治39(1906)年に住友家15代家長の住友吉左衛門友純が建築し、戦前は住友家の別邸としてお客様のおもてなし等に使われました。移築後は、住友グループ各社の記念館として活用し、金属製錬や煙害克服の歴史等の展示を行い、定期的に一般公開する予定です。

モレンシー銅鉱山の 権益追加取得が完了



米国アリゾナ州で行われたクロージングセレモニーの様子
(SMM中里社長とフリーポート・マクモラン社アドカーソン社長)

SMMは、米国最大手の産銅会社フリーポート・マクモラン社が経営するモレンシー銅鉱山の権益を13%追加取得することについて5月31日に手続きを完了(クロージング)いたしました。1986年に12%の権益を取得しており、これによりSMMの権益は25%となります。SMMは厳しい事業環境の中においても、ものづくりの会社として常に銅資源の確保に努め、高品質な銅の安定供給をめざしてまいります。

二次電池用正極材料 (ニッケル酸リチウム)の増産



二次電池用正極材料(ニッケル酸リチウム)

SMMは、パナソニック株式会社と共同で開発した二次電池用正極材料(高性能ニッケル酸リチウム)の生産拡大を進めてまいりましたが、10月26日、新たにニッケル酸リチウムの生産設備の増強を磯浦工場、播磨事業所にて行うことを決定しました。これにより、住鉱エナジーマテリアル(株)檜葉工場とあわせて3拠点での増産体制をとります。設備投資額は総額約180億円で、2018年1月完成を予定しており、当社のニッケル酸リチウムの生産能力は、現在の1,850トン/月から3,550トン/月に増加します。

当社は、ニッケル原料の製錬から加工までを一貫して手掛けている強みに加え、二次電池の高容量化に欠かせない正極材料のさらなる高性能化と、車載用に求められる安全・安心、安定的なもののづくりと供給体制構築に取り組んでまいります。

「証券アナリストによる ディスクロージャー優良企業選定 (鉄鋼・非鉄金属部門)」で第1位を獲得

ディスクロージャー
2016年度 優良企業



一般社団法人日本IR協議会が主催する 「2016年度IR優良企業賞」で IR優良企業大賞を受賞



SMMは、公益社団法人日本証券アナリスト協会が主催する、平成28年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」におきまして、鉄鋼・非鉄金属部門14社のうち第1位の優良企業に選ばれました。また、「2016年度IR優良企業賞」におきましても、応募企業258社のうち2社が選定されたIR優良企業大賞を受賞いたしました。

ディスクロージャー優良企業選定は6年連続での1位獲得、IR優良企業賞は初めでの大賞受賞となります。

SMMは、今後も株主・投資家をはじめとしたステークホルダーのみなさまへの適切な経営情報の開示とコミュニケーションを推進してまいります。

住友金属鉱山公式ウェブサイト をリニューアルしました

皆さまにSMMグループをよりご理解いただけるよう、ウェブサイトを全面的にリニューアルいたしました。今後ともぜひご活用ください。

リニューアルのポイント

デザインと構成の刷新

より見やすく、快適にご利用いただけるようデザインおよび構成を刷新するとともにスマートフォン表示対応ページを大幅に増やしました。

各コンテンツの充実

- 弊社グループの概要をわかりやすくコンパクトにまとめた「ひと目でわかるSMM」ページを新設しました。
- 事業紹介、製品紹介、IR、CSR、研究開発ページを中心にコンテンツの充実を図りました。

住友金属鉱山ウェブサイトの ホームページアドレス

日本語サイトURL
<http://www.smm.co.jp/>



※SAWフィルター：特定の周波数帯域の電気信号を取り出すデバイスで、スマートフォンなどの情報端末に組み込まれます。

連結財務諸表(要約)

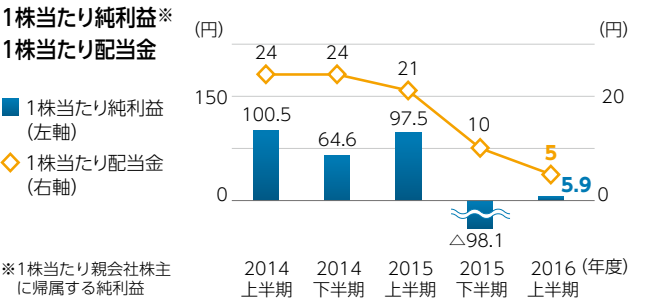
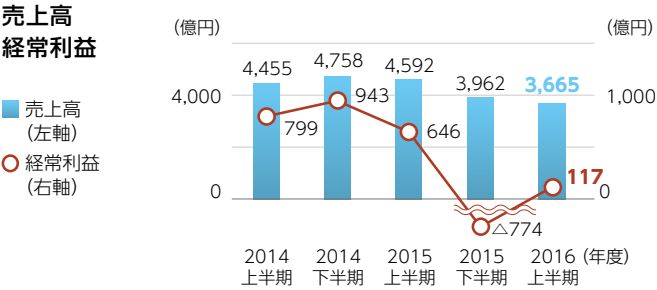
当第2四半期累計(2016年4月～9月)の売上高は、ニッケルおよび銅価格の下落並びに円高により、前年同期間(2015年4月～9月)に比べ927億円減少し、3,665億円となりました。

営業利益についても、売上高と同様の背景から、前年同期間に比べ296億円減少し、219億円となりました。

経常利益では、営業利益の減益に加え、持分法による投資損益及び為替差損益の悪化などにより前年同期間に比べ529億円減少し、117億円となりました。

親会社株主に帰属する純利益は、前年同期間に比べ505億円減少し、33億円となりました。

売上高	3,665億円
前年同期間比 20.2%減	
営業利益	219億円
経常利益	117億円



※1株当たり親会社株主に帰属する純利益

四半期連結損益計算書		
(単位:百万円)	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	366,492	459,215
売上原価	322,064	382,618
売上総利益	44,428	76,597
販売費及び一般管理費	22,508	25,128
営業利益	21,920	51,469
営業外収益	9,113	16,330
営業外費用	19,337	3,213
経常利益	11,696	64,586
特別利益	267	16,400
特別損失	9,793	844
税金等調整前四半期純利益	2,170	80,142
法人税等合計	1,111	15,118
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 2,213	11,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,272	53,758

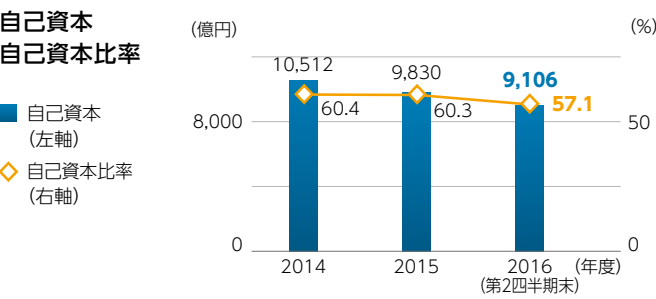
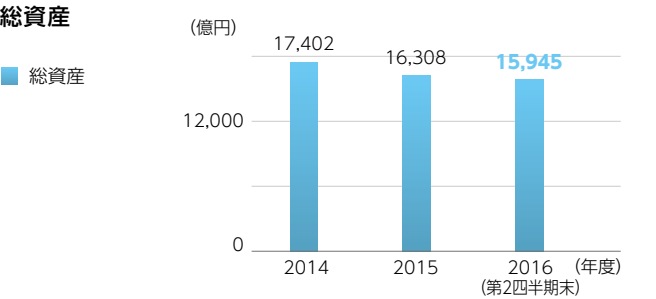
四半期連結キャッシュ・フロー計算書		
(単位:百万円)	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,081	48,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 183,834	△ 35,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,486	△ 13,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,550	404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 57,817	150
現金及び現金同等物の期首残高	197,825	177,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,008	177,870

当第2四半期末の資産は、前期末(2016年3月末)と比べ363億円減少し、1兆5,945億円となりました。

負債は、前期末に比べ499億円増加し、6,048億円となりました。

純資産合計は、前期末に比べ862億円減少し9,898億円となりました。自己資本比率は57.1%で、目標に掲げる健全な財務体質を維持しました。

総資産	15,945億円
前期末(2016年3月末)比 2.2%減	
自己資本	9,106億円
前期末(2016年3月末)比 7.4%減	



四半期連結貸借対照表		
(単位:百万円)	当第2四半期末 2016年9月30日	前期末 2016年3月31日
資産の部		
流動資産	519,815	539,079
固定資産	1,074,708	1,091,721
有形固定資産	467,475	453,534
無形固定資産	43,862	9,382
投資その他の資産	563,371	628,805
資産合計	1,594,523	1,630,800
負債の部		
流動負債	176,145	225,267
固定負債	428,608	329,538
負債合計	604,753	554,805
純資産の部		
株主資本	888,953	891,368
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,067	86,067
利益剰余金	742,485	744,886
自己株式	△ 32,841	△ 32,827
その他の包括利益累計額	21,685	91,590
非支配株主持分	79,132	93,037
純資産合計	989,770	1,075,995
負債純資産合計	1,594,523	1,630,800

会社情報

会社概要（2016年9月30日現在）	
商号	住友金属鉱山株式会社 Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.
本社所在地	東京都港区新橋5丁目11番3号
創業	天正18年(1590年)
設立	昭和25年(1950年)
資本金	932億円
従業員数	連結：8,995名 単独：2,303名

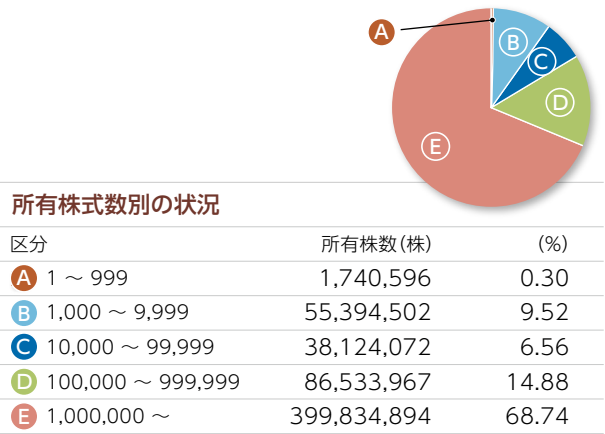
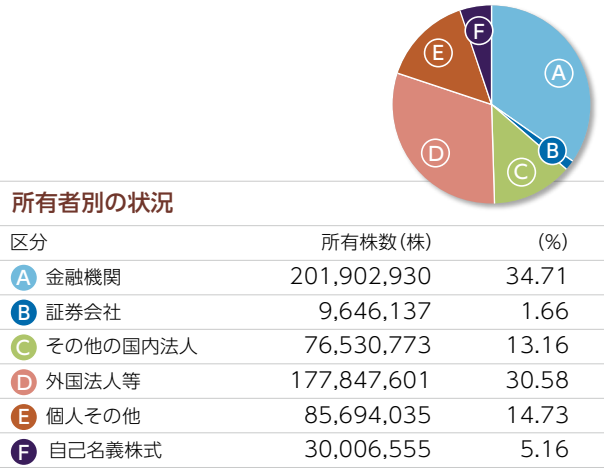
取締役および監査役 (2016年9月30日現在)		執行役員 (2016年9月30日現在)	
取締役会長	家守 伸正	社長	中里 佳明
取締役社長	中里 佳明*	専務執行役員	土田 直行 緒方 幹信
取締役	土田 直行	常務執行役員	飯島 亨
	緒方 幹信		後根 則文
	野崎 明		黒川 晴正
社外取締役	牛嶋 勉		杉浦 卓
	泰松 齊		野崎 明
	中野 和久		
常任監査役 (常勤)	佐藤 元	執行役員	岡田 功
監査役 (常勤)	中山 靖之		小田 浩久
社外監査役	三和 彦幸		角谷 博樹
	近藤 純一		浅井 宏行
			森本 雅裕

注 *印は、代表取締役です。

株式状況

株式の状況（2016年9月30日現在）	
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	581,628,031株
株主数	40,936名

株式分布状況（2016年9月30日現在）



株式メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主総会

定時株主総会 毎年6月
臨時株主総会 必要の都度

基準日

定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人および特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
0120-782-031

公告掲載方法

電子公告とする。ただし、やむを得ない事由により
電子公告による公告をすることができない場合は
日本経済新聞に掲載する。

株式に関するお届けおよびご照会先

証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社宛に、特別口座に口座がある株主様は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社証券代行部までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

単元未満株式買取および買増のご請求について

株主様がご所有の単元未満株式(1～999株)を当社が買取らせていただく制度がございます。また、株主様がご所有の単元未満株式を単元株式とするため、必要な数の株式を買増する制度がございます。単元未満株式の買取および買増請求につきましては、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口において配当金領収証と引換えにお受け取りいただく方法のほかに、より安全で確実な方法として、ご指定の銀行口座またはゆうちょ銀行の貯金口座へ継続的にお振り込みする方法がございます。また、証券会社に口座を開設されている場合は、証券総合口座等へのお振り込みも可能です。お振り込みをご希望される場合は、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

特別口座株式の振替手続について

株券電子化前に、証券保管振替機構をご利用されていなかった株主様(お手元に株券をご所有の株主様)の株式については、特別口座に記録されております。特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買することができませんので、証券会社に株主様名義の口座を開設し、株式を振り替えることをお勧めいたします。
特別口座に記録されている株式の振替を希望される場合は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社証券代行部までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

当冊子についてのお問合せ先

 **住友金属鉱山株式会社** 広報IR部

〒105-8716 東京都港区新橋5丁目11番3号
TEL.03-3436-7705 FAX.03-3434-2215